

「デニム」の印象を変えるドレス

DENIM DRESS



デニムの新しい考え方

現在カジュアルに着用されている「デニム」は本来、作業着に用いられていた。それに対し、フォーマルな印象を持つ「ドレス」この対照的な二つを掛け合わせることで見える新しいドレスの提案。

A New Perspective on Denim

Denim, currently widely considered a fabric for casual wear, was initially used for working-class dirty work uniforms. A dress, on the other hand, is associated with formal garb. My work combines these two contrasting elements into a new kind of dress.

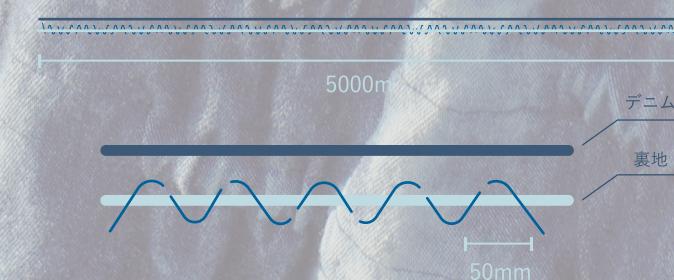
デニムの脱色 / ダメージ加工 decolourization of dress



ドレスの特徴 dress feature

絞った状態でシワを作り、山となる表面のみを脱色することでドレスに表情ができる。デニムならではの色落ち、脱色前の「紺色」と脱色後の「白色」とのコントラストがドレスの良さを引き立てる。

ドレスの構造 dress instruction



生地の全長は横 5m。デニム生地とナイロン生地(裏地)の間にワックスコードを通し、巾着袋と同じ構造にすることで簡単に縛ることができる。着る人に巻きつけ、背面を絞って固定することで形を維持する。